

希少なイチョウハクジラの最北漂着記録を更新

～北海道八雲町、大陸性気候帯での漂着記録は初～

ポイント

- ・北海道八雲町にオスのイチョウハクジラが死亡漂着し、本種の最北漂着記録を更新。
- ・主に熱帯から温帯に生息する種で、大陸性気候帯における漂着が確認されたのは初。
- ・これまで知られていたよりも、イチョウハクジラの分布域が広いことを示唆。

概要

北海道大学北方生物圏フィールド科学センターの黒田実加特任助教、同大学大学院水産科学研究院の松石隆教授らの研究グループは、2022年2月4日に北海道八雲町落部の海岸に漂着した全長477cmのオスのオウギハクジラ属鯨類がイチョウハクジラ (*Mesoplodon ginkgodens*) であると同定しました。

オスの歯の形がイチョウの葉に似ていることからその名が付いたイチョウハクジラは、国際自然保護連合 (IUCN) のレッドリストで「データ不足」に分類されるほど、生態に不明な点が多いクジラです。日本では年間平均300件程度の鯨類の漂着がありますが、イチョウハクジラの漂着はそのうち1件あるかないかです。なお、北海道では、これまで漂着がありませんでした。

研究グループは、外部形態調査、DNA分析によって本個体がイチョウハクジラであると同定し、日本及び世界のスタンディング*¹レコードを調査することで、本個体がイチョウハクジラの世界最北漂着記録であることを明らかにしました。これは大陸性気候帯では初めての漂着記録です。これによって、イチョウハクジラの分布域が従来知られていた温帯から熱帯よりも広い可能性が示されました。

本研究は、未だ知見の少ないイチョウハクジラの分布や生態に関する貴重な知見であり、今後の本種の生態学的研究に貢献することが期待されます。

なお本研究成果は、2023年7月9日(日)に *Aquatic Mammal* 誌にオンライン掲載されました。



漂着したイチョウハクジラ (個体番号: SNH22005) の左側面写真

【背景】

2022年2月4日に、北海道八雲町落部の海岸で全長477cmのオスのオウギハクジラ属鯨類（個体番号：SNH22005）が漂着しました（図1）。松石教授が理事長を務める特定非営利活動法人ストランディングネットワーク北海道（SNH）が全身を回収し、函館市国際水産・海洋総合研究センターにて外部形態調査及び標本の採集を行いました。

【研究手法】

外部形態測定結果から、本個体はイチョウハクジラ（*Mesoplodon ginkgodens*）であることが強く示唆されていましたが、宮崎大学の西田 伸准教授によってDNA分析が行われ、イチョウハクジラであると同定しました。

その後、株式会社大阪海洋研究所の石川 創氏とポーランドのオウギハクジラ属研究者であるヴォイテック・バカラ氏が収集した日本及び世界のストランディングレコードを調査したところ、本個体は、イチョウハクジラの世界最北漂着記録であることが明らかになりました。

【研究成果】

イチョウハクジラは、これまで日本の沖縄から関東、中国の南部、韓国、台湾、フィリピン、ニュージーランド等で漂着が記録されていましたが、北海道での漂着記録は今までに無く、大陸性気候帯に属する地域においては初めての漂着記録です。本研究の結果から、イチョウハクジラの分布域は、従来考えられていたよりも広い可能性が示されました。

【今後への期待】

本研究は、未だ知見の少ないイチョウハクジラの分布や生態に関する貴重な知見であり、今後の本種の生態学的研究に貢献することが期待されます。

論文情報

論文名 Northernmost Record of the Ginkgo-Toothed Beaked Whale (*Mesoplodon ginkgodens*)
(イチョウハクジラの最北漂着記録)
著者名 Wojtek BACHARA^{1*}、Mika KURODA^{2*}、Shin NISHIDA³、Hajime ISHIKAWA⁴、Takashi Fritz MATSUI⁵ (¹ポーランド、²北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、³宮崎大学教育学部、⁴株式会社大阪海洋研究所、⁵北海道大学大学院水産科学研究院) *共同筆頭著者
雑誌名 Aquatic Mammals (水棲哺乳類学の専門誌)
DOI 10.1578/AM.49.4.2023.356
公表日 2023年7月9日(日)(オンライン公開)

お問い合わせ先

北海道大学大学院水産科学研究院 教授 松石 隆(まついしたかし)

TEL 0138-40-8857 メール catm@fish.hokudai.ac.jp

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 特任助教 黒田実加(くろだみか)

TEL 0138-65-2344 メール mika.kuroda@fish.hokudai.ac.jp

URL https://researchmap.jp/mika_km

配信元

北海道大学社会共創部広報課(〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)

TEL 011-706-2610 FAX 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

【参考図】

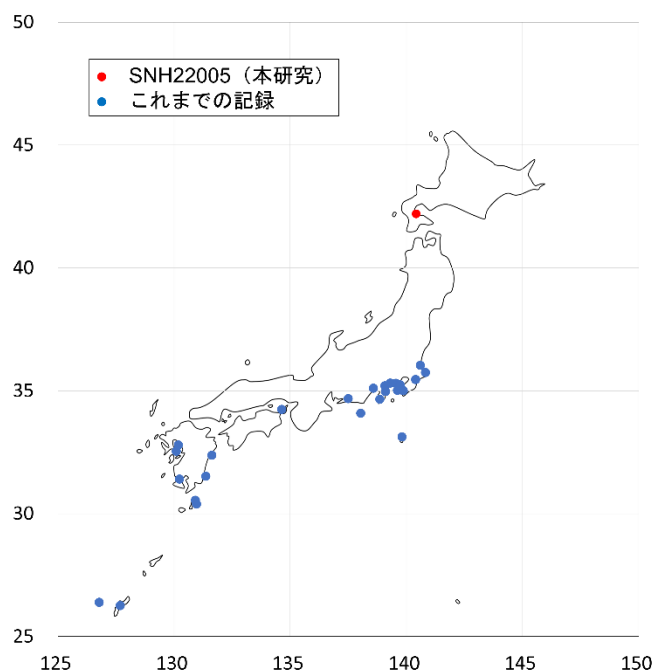


図1. 日本国内におけるイチョウハクジラのスランディング記録

【用語解説】

*1 スランディング … 鯨類などが座礁・混獲・迷入などにより、自力で本来の生息域に戻れなくなっている状態。